

沖縄やんばるDMO

半期活動報告 & 新たな取組み

(一社) 沖縄やんばるDMO
CMO／観光地域づくりマネージャー
佐竹 正範



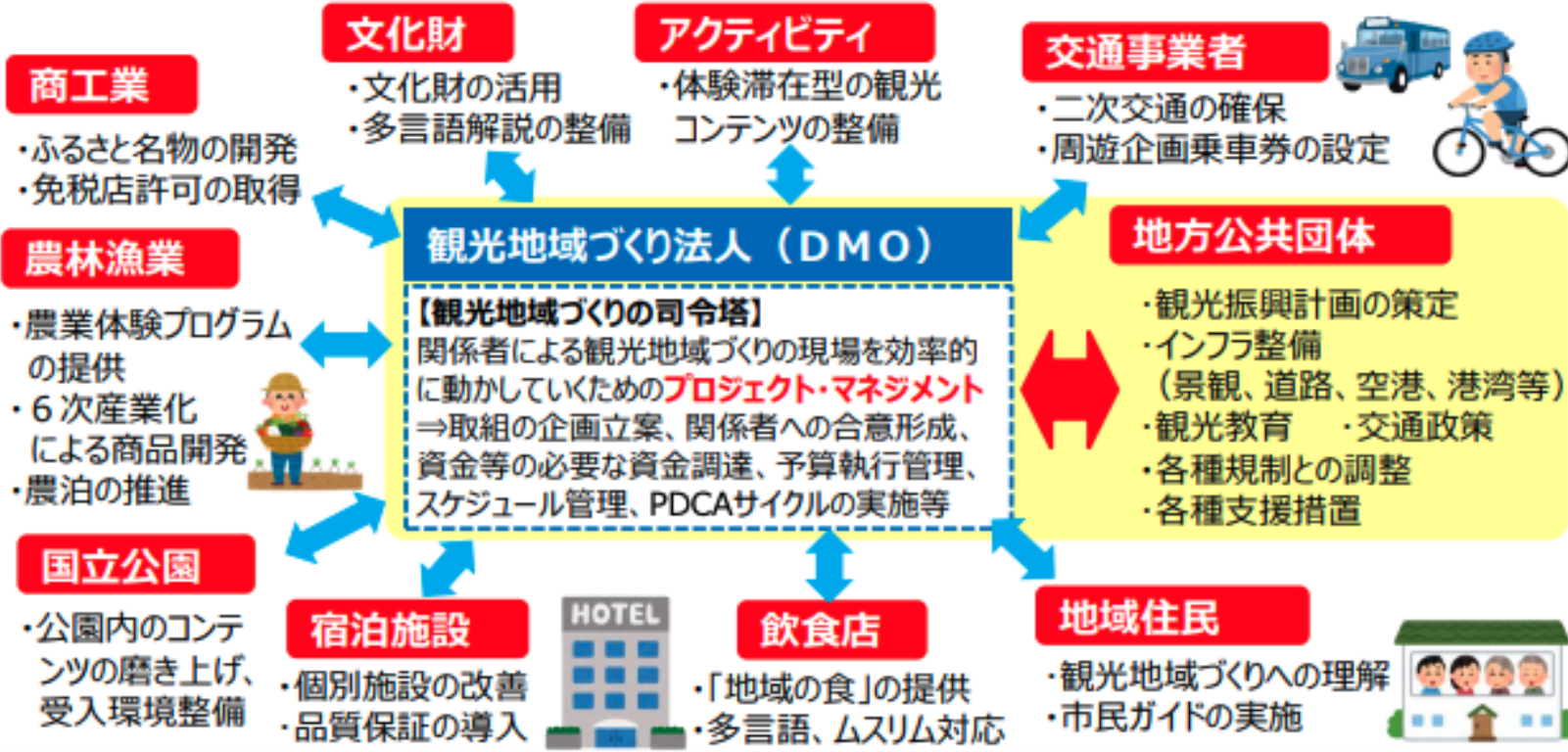
「DMO」とは？

(Destination Management/Marketing Organization)

地域が一体となって、観光を活用した地域づくりを行う「観光地域づくり法人」

地域の関係者を巻き込んだ体制の構築

観光地域づくり法人(DMO)を中心とし、地域の関係者が主体的に参画した体制を構築



ターゲティング等の戦略策定

観光コンテンツの造成

受入環境の整備

地方誘客・旅行消費拡大

DMO形成を地域活性の起爆剤に

地方創生（持続可能な地域づくり）のツールとして「観光」を活用する

沖縄やんばるDMOの設立背景

北部広域市町村圏事務組合が中心となり、北部地域の素通り観光や宿泊日数の増加、周遊促進など広域的な課題解決に向け、DMOの設立が検討されてきました。

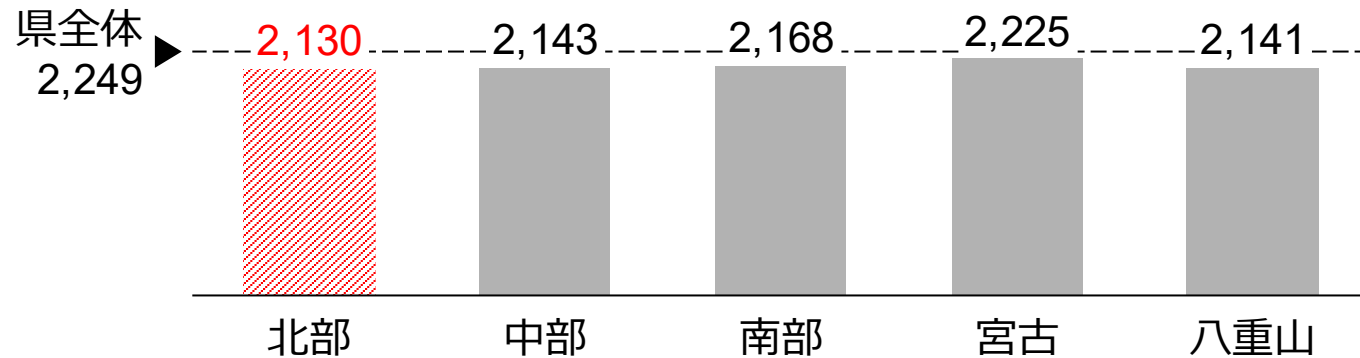
やんばる地域における観光課題

- **各市町村が単独で解決できない広域的な観光課題が存在**
 - 観光による地域振興、北部地域全体への周遊促進、滞在型観光の推進。
- **限定的な地域経済への波及効果**
 - 年間450万人以上の観光客が訪れているが、二次交通や旅マエの情報発信不足により、宿泊日数が短く、**観光消費による地域経済への波及効果が限定的。**

沖縄やんばるDMO設立へ

- 観光を軸に北部12市町村が連携し、**北部地域全体の所得の向上と経済効果の最大化を図るための中核組織**として、地域連携DMO（沖縄やんばるDMO）の設立が検討されてきた。

令和4年度市町村別県民所得（単位：千円）



出所：沖縄県企画部統計課より作成



20250412
琉球新報

沖縄やんばるDMOが実施する事業の全体図

やんばる地域を対象地域として、「マーケティング事業」と「マネジメント事業」の2つの観点から事業を展開する。

沖縄やんばるDMOの事業内容

やんばる地域に観光客を誘客するための事業 (マーケティング事業)

観光客（市場）誘客を目的に①～⑤の事業を実施

①市場調査

観光動向の分析

分析結果の共有

②マーケティング・ ブランディング

やんばる地域のブランド構築・開発

③商品開発

地域内周遊商品の開発（テーマ別）

④一般消費者向け活動

観光ウェブサイト構築・運営による情報発信

広報ツール作成

イベント・旅行博
への出展

観光客への情報発信

⑤観光事業者向け活動

旅行会社・メディアへの働きかけ

持続的な観光地を形成するための事業 (マネジメント事業)

観光客・地域住民・事業者向けに①～④の事業を実施

①受入環境整備

二次交通の整備

インバウンド対応

観光案内

②地域理解促進

住民への理解促進

生活環境の保全

③人材育成・確保

地域観光人材育成・確保

④ルール・マナー等の 整備・発信

観光ルール・マナーの
整備促進

観光危機管理体制
の整備

※2025年度から、北部広域市町村圏事務組合がリーディング事業として先行して事業スタート

沖縄やんばるDMO設立準備委員会

北部広域市町村圏事務組合DMO設立準備プロジェクトチームが事務局となり
多様な地域内外の観光関係者による準備委員会でDMOの設立に向けて議論を重ねてきました。

区分	氏名	役職
行政	渡具知 武豊	北部広域市町村圏事務組合 理事長
観光協会	比嘉 明男	沖縄北部地域観光協会 会長
観光施設	湧川 盛順	一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長
	佐藤 大介	株式会社ジャパンエンターテイメント 取締役副社長
宿泊施設	前田 裕子	株式会社前田産業ホテルズ 取締役会長
交通 事業者	山城 克己	一般社団法人沖縄県バス協会 会長
スポーツ	當山 智士	ツール・ド・おきなわ 大会実行委員長
学術機関	林 優子	公立大学法人名桜大学 副学長

第1回 2025年6月17日

第2回 2025年12月2日

第3回 2026年1月14日

第4回 2026年2月24日





北部広域市町村圏事務組合

観光協会

名護市 観光協会	国頭村 観光協会	大宜味村 観光協会	東村観光 推進協議会
今帰仁村 観光協会	本部町 観光協会	恩納村 観光協会	宜野座村 観光協会
金武町 観光協会	伊江島 観光協会	伊平屋島 観光協会	いぜん島 観光協会

沖縄北部地域観光協会



国際観光産業学科



公立大学法人名桜大学



一般社団法人 沖縄やんばるDMO
2026年3月5日 設立

4月1日から活動開始



1. Why ?

2. What ?

3. How ?

Why ?

来た時よりもより美しく

世界に誇るやんばるの「生命の輝き」を未来へ繋ぐ
(いのち)



沖縄の始まりが「やんばる」にある

琉球國中山世鑑卷一

琉球開闢之事

曩昔天城ニ阿摩美久ト云神御坐シケ
リ天帝是ヲ召レ宣ケルハ此下ニ神ノ
可住靈處有リ去レトモ未タ嶋ニ不成
事コソクヤシケレ爾降リテ嶋ヲ可作
トソ下知シ給ケル阿摩美久畏リ降リ

ノ浪ハ西海ニ打越シ西海ノ浪ハ東海
ニ打越シテ未タ嶋トソ不成ケリ去程
ニ阿摩美久天へ上リ土石草木ヲ給ハ
レハ嶋ヲ作リテ奉ントソ奏シケル天
帝睿感有テ土石草木ヲ給リテケレハ
阿摩美久土石草木ヲ持下リ嶋ノ数ヲ
ハ作リテケリ先ツ一番ニ國頭ニ邊土
ノ安頭森次ニ今鬼神ノカチヒヤフ次

ニ知念森齊場嶽藪薩ノ浦原次ニ玉城
アツ、次ニ久高コハウ森次ニ首里
森真玉森次ニ嶋嶋國國ノ嶽嶽森森ヲ
ハ作リテケリ數萬歳ヲ經ヌレトモ人
モ無レハ神ノ威モ如何テカ可顯ナレ
ハ阿摩美久又天へ上リ人種子ヲソ乞
給ケル天帝宣ケルハ爾カ知タル如ク
天中ニ神多シト云ヘトモ可下神無シ

重新
校正

中山世鑑



1. Why ?

2. What ?

3. How ?

市町村では解決できない 広域的で公益的な課題解決

What ?

～観光の力で地域の力を解き放つ～



一般社団法人沖縄やんばるDMO

沖縄やんばるDMOの目的

“**沖縄**県北部地域の12市町村（以下、「やんばる地域」という）の地域の行政機関及び民間事業者、教育機関が一体となり、やんばる地域の自然・文化・住民生活と調和した持続可能な観光地域づくりを推進することにより、観光を通じてやんばる地域の本質的価値を世界へ提供し、地域の所得と幸福度及び観光客の満足度の向上を図るとともに、経済効果の最大化と環境負荷の最小化を両立させ、地域と来訪者が共に幸せを分かち合う豊かな未来の実現に寄与することを目的とする。”

キーワード

- 自然・文化・住民生活と調和
- 持続可能な観光地づくり
- やんばるの本質的な価値の提供
- 地域の所得の向上
- 幸福度の向上
- 経済効果の最大化
- 環境負荷の最小化
- 地域と来訪者がともに幸せを分かち合う

**地域が一体となって観光の力で、
住む人も、来る人も、働く人も、Happyに！**

私たちの存在意義と使命（パーパス&ミッション）

パーパス

世界に誇るやんばるの「生命（いのち）の輝き」を未来へ繋ぎ、持続可能な豊かさを地域にもたらす。

解説：私たちの活動の根源は、やんばるの奇跡的な自然と、そこで育まれた文化、つまり「生命の輝き」を守り、未来へ継承することです。そして、その価値を地域経済の力に変え、一過性ではない「持続可能な豊かさ」を実現します。「保護」と「振興」の二項対立を乗り越えることが、私たちの存在意義です。

ミッション

[マネジメント] 自然と文化が調和した、世界水準のサステナブルな観光地を創造する。

解説：質の高いデスティネーション（目的地）を「創る」活動です。二次交通の整備、環境保全プログラムの策定、地域産品を活かした体験開発など、旅行者が訪れたい魅力的な地域そのものを磨き上げます。

[マーケティング] やんばるの唯一無二の価値を世界に届け、質の高い交流を促進する。

解説：創り上げた価値を世界に「届ける」活動です。データに基づきターゲットを明確化し、効果的なプロモーションを展開することで、やんばるの価値を正しく理解し、共感してくれる人々との交流を創出します。

私たちが目指す2030年の姿（ビジョン）



【経済】観光が地域経済の柱となり、多様な担い手が誇りを持って活躍する地域。

目指す姿:観光客が地域全体を周遊し、宿泊、飲食、体験活動など多様な消費を行うことで、中小事業者や農林漁業者にも経済的な恩恵が行き渡る。「観光需要の偏在化」が解消され、誰もが観光産業の担い手となる未来。



【環境・文化】世界自然遺産の価値が守られ、訪れる人と地域住民が共に育む地域。

目指す姿:観光収益の一部が自然保護活動に還元される仕組みを確立。旅行者は環境保全のルールを理解・遵守し、住民は観光客を温かく迎え入れる。「環境・住民への負荷」が最小化され、共存共栄が実現された未来。



【体験価値】全ての旅行者が感動的な体験を通じて、やんばるのファンになる地域。

目指す姿:表層的な観光ではなく、やんばるの自然の奥深さや文化の豊かさに触れる本物の体験が提供される。「脆弱な受入環境」が改善され、質の高いおもてなしにより、旅行者が生涯忘れられない思い出を持ち帰る未来。



1. Why ?

2. What ?

3. How ?

あるべき姿

戦略

戦略

...

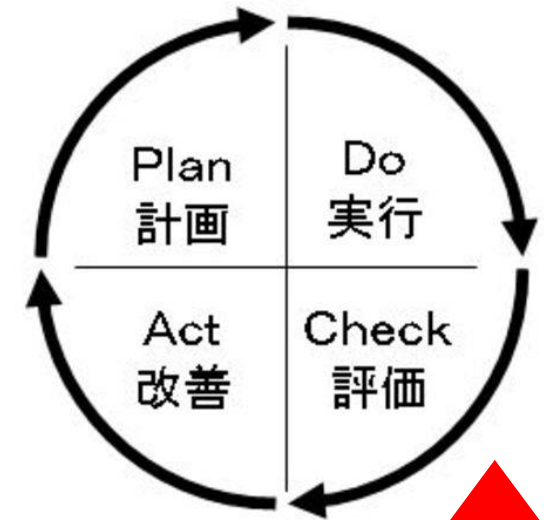
現状把握

ポジショニングの考え方を
観光の領域にあてはめてみると

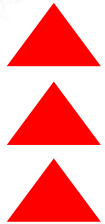
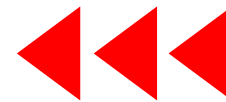
アクション

アクション

...



PDCAを回す



Yam-D (やんでい)

やんばるエリア観光事業者、12市町村の観光協会や自治体観光課の為の
稼ぐ観光のためのマーケティング環境の提供

Yam-D 観光客の実態把握

現状把握

やんばる内を36エリアに分けて
約180箇所に告知QRコードを設置



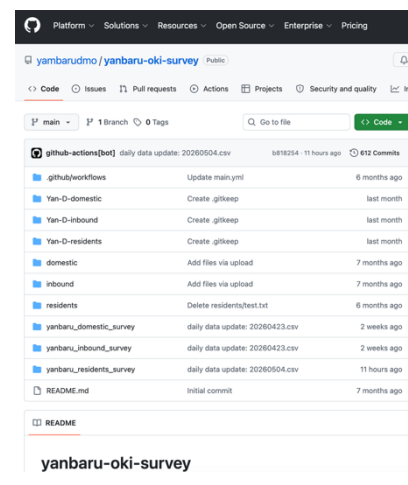
(2025年10月1日
～2026年9月30日)

アンケート収集数

10,017件

アンケートデータ

GitHub上に
オープンデータ化

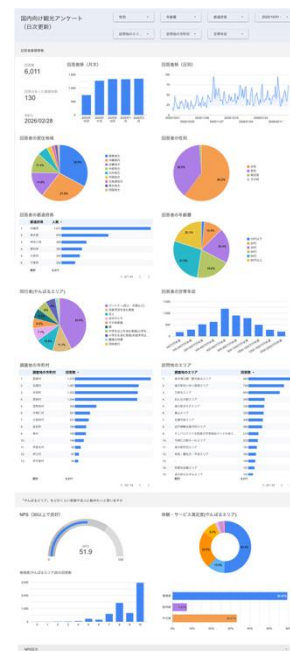


学術研究、学校の授業、ハッカソンイベント等
自由に活用可能

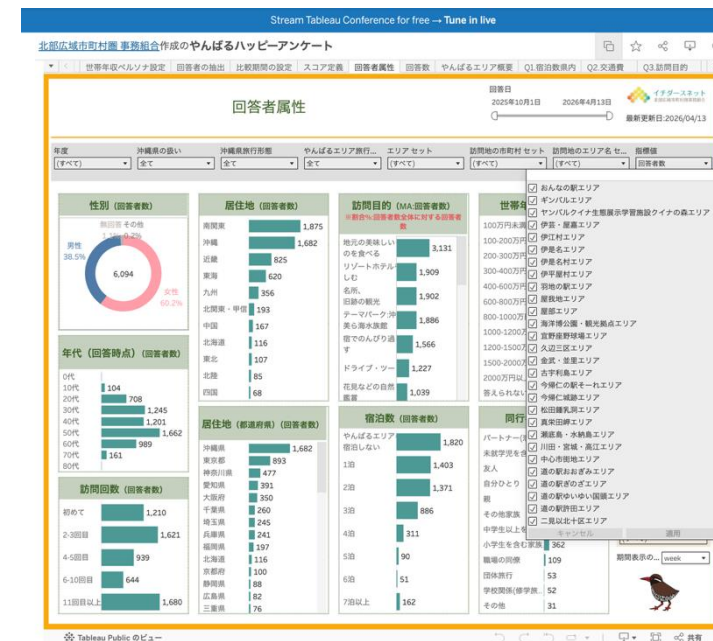
Yam-D (やんでい)

12市町村別、36のエリア別で分析可能

日時更新の簡易分析
ダッシュボード



月次更新の詳細分析
ダッシュボード



旅行形態 / 目的 / 宿泊数 / 消費額 / 満足度 / 推奨意向 / 情報収集方法
観光地に改善点や求める事などを把握できるダッシュボード

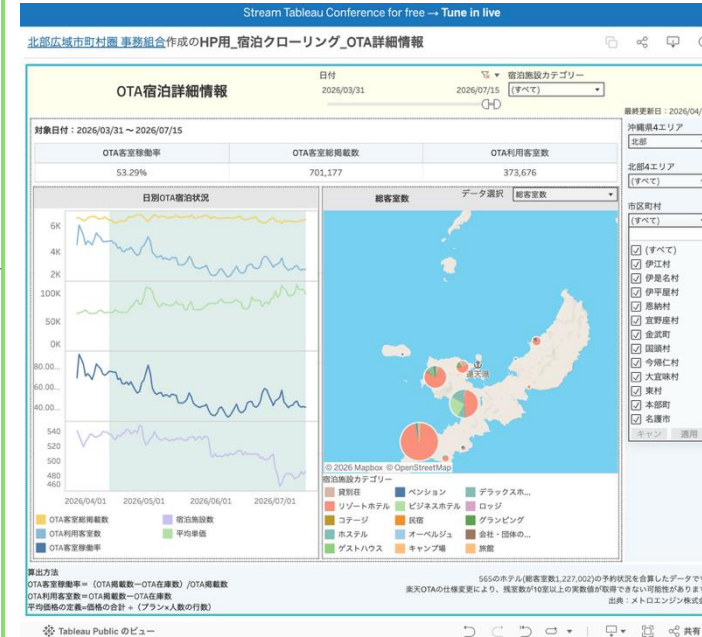
やんばるエリア 1日あたりの宿泊キャパシティ

令和6年宿泊施設実態調査結果 (令和7年6月25日発表)		合 計				
		軒数	客 室 数			収容 人数
			和	洋	計	
沖縄本島 (北部)	1名護市	211	75	3,530	3,605	11,453
	2国頭村	38	63	327	390	1,251
	3大宜味村	28	13	27	40	224
	4東村	26	13	82	95	407
	5今帰仁村	264	35	790	825	3,844
	6本部町	398	134	2,387	2,521	10,888
	7恩納村	402	244	5,839	6,083	21,916
	8宜野座村	30	33	112	145	646
	9金武町	59	27	282	309	1,180
	小 計	1,456	637	13,376	14,013	51,809
離島 (北部)	10伊江村	31	57	148	205	605
	11伊平屋村	18	69	63	132	662
	12伊是名村	18	78	64	142	400
	小 計	67	204	275	479	1,667
合計		1,523	841	13,651	14,492	53,476

Yam-D (やんでい)

12市町村別、36のエリア別で分析可能

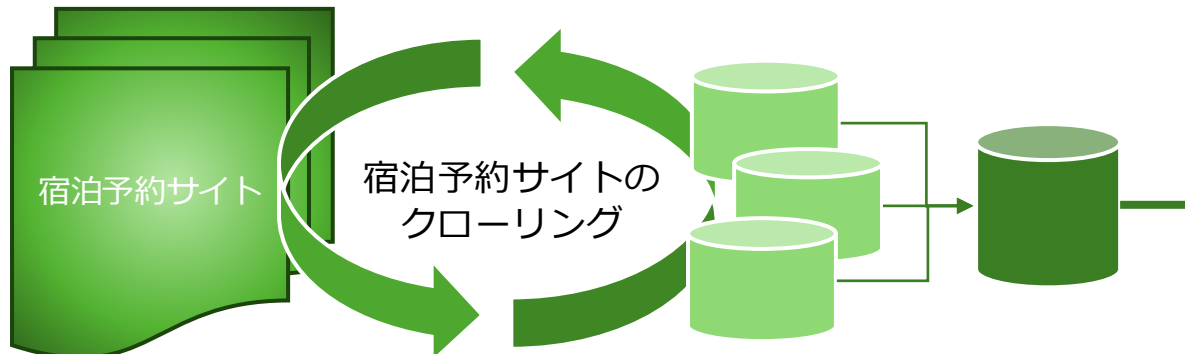
過去の実績と、90日先までの宿泊予約状況の
分析ダッシュボード



平均単価とOTA客室稼働率



日毎、月毎の宿泊実績



正直なものではなく
あくまで傾向分析ツールとして提供

KGI/KPIを設定してPDCAを回していく

あるべき姿

			取得方法	指標の種別		現状数値
				KGI	KPI	
観光経済効果の最大化						
観光客数・滞在の増加	1	延べ宿泊者数	・ 観光事業者（宿泊施設のみ）へ調査表		○	-
	2	月別来訪者数の平準化率	・ DMPで実装予定の入込客数から計算		○	-
	3	平均宿泊数	・ ハッピーアンケート		○	1.64泊
	4	平均客室稼働率*	・ DMP		○	確認中
消費額・経済波及効果	5	一人あたり旅行消費額	・ ハッピーアンケート		○	70,897円**
	6	旅行消費額	・ 日本観光振興協会の来訪者 × 平均旅行消費額 （ハッピーアンケート）を想定	○		-
	7	経済波及効果*	・ DMPデータを活用予定。構想する指標については、数値の算出が 遅れることもあるため、提出の仕方に検討が必要		○	-
地域の所得の向上						
事業者の稼ぐ力	8	観光事業者の平均給与	・ 観光事業者へと調査する必要あり		○	-
	9	地域の平均所得	・ 沖縄県統計を利用（数値の更新は遅いため、掲出は要検討）		○	-
観光客の満足度の向上						
体験満足度の拡大	10	来訪者満足度（5段階評価）	・ ハッピーアンケート	○		4.49pt***
	11	来訪者推奨意向（NPS）	・ ハッピーアンケート		○	31pt
住民の観光に対する姿勢						
住民の受容性	12	持続可能な観光に対する住民満足度	・ やんばる地域住民向けアンケート		○	データ整備中
観光事業者の満足度	13	観光業界事業者の満足度	・ 観光事業者へ調査表	○		-
DMOの組織的運営						
組織運営・人材	14	職員の満足度	・ 職員面談/調査表		○	-
財務の安定	15	安定財源確保率	・ 決算資料を基に作成		○	-

今後詳細に
決めていく

**まずは今年度
昨年度に北部広域市町村圏事務組合で起ち上げてくれた
リーディング事業を引き継いでスタート**

- 1. 北部地域観光DMP構築事業**
- 2. 北部地域観光周遊計画策定業務**
- 3. 本部港クルーズ船受入体制構築・支援業務**
- 4. 北部地域観光人材育成業務**
- 5. やんばるブランドコンセプトづくり**

1. 北部地域観光DMP構築事業

やんばる - 沖縄県北部 - 公式観光サイト



AIを活用した観光案内

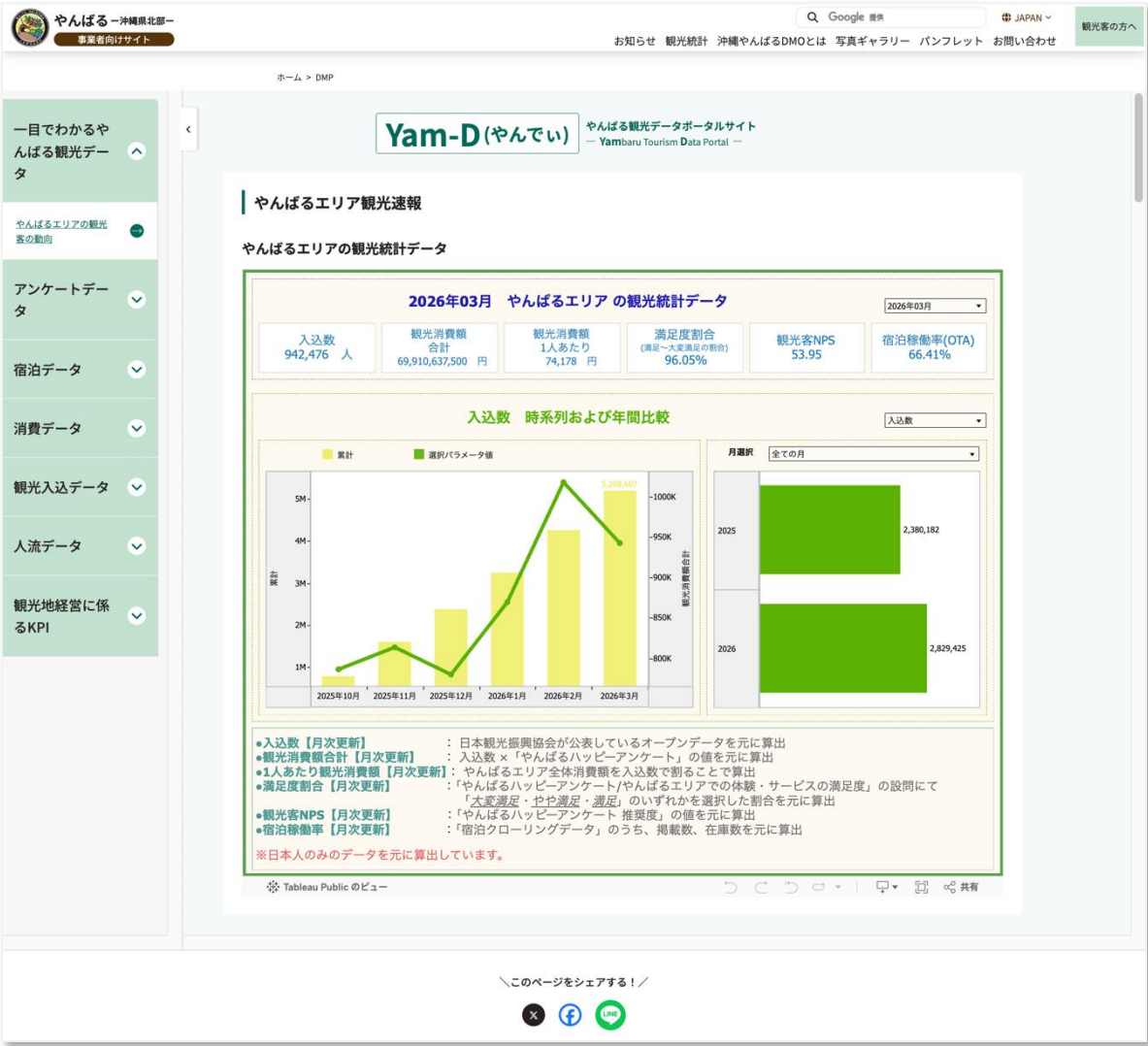
沖縄観光コンベンションビューローとの連携

イベント情報
ツアー・アクティビティ情報
観光スポット情報



やんばる観光データポータルサイト
Yambaru Tourism Data Portal Yam-D (やんでい)

<https://yambaru-tour.net/business/dmp/>

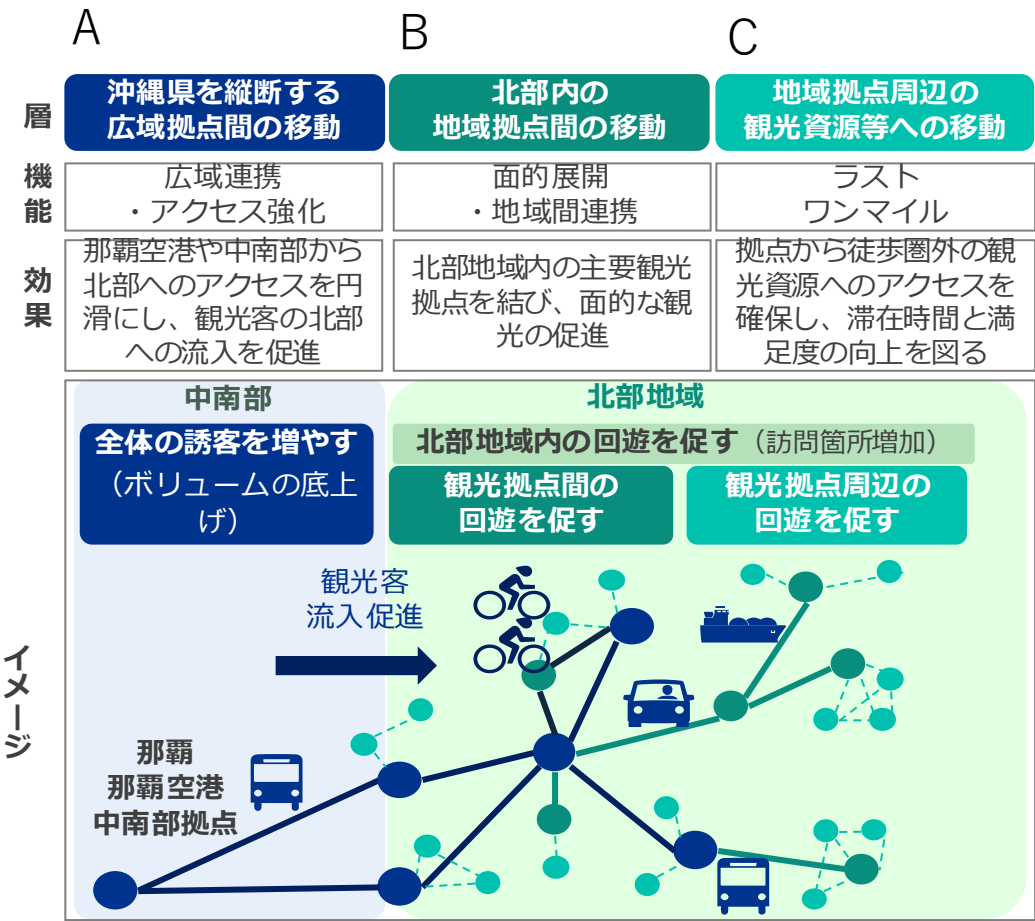


分析勉強会を実施（5月、7月、10月）

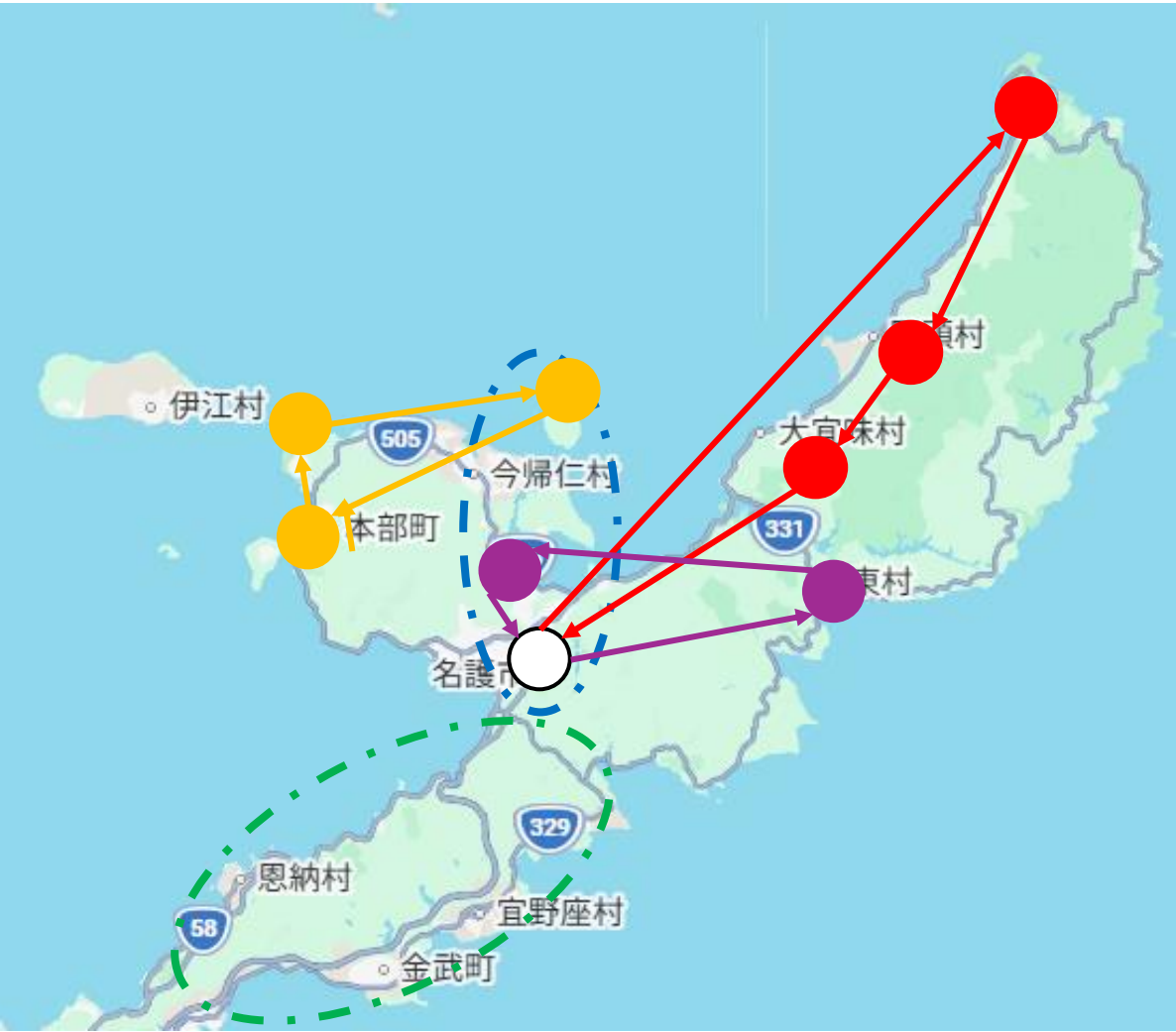
2. 北部地域観光周遊計画策定業務

拠点とネットワーク構築の考え方

- 観光客の移動ニーズや地域特性を踏まえ**三層構造で整理し、それぞれに適した交通手段と連携体制の構築**を目指すことで、沖縄北部地域における観光**周遊の利便性向上**と観光資源の**面的活用**を図る



【実証運行案】 2027年1月－2月で実施予定



3. 本部港クルーズ船受入体制構築・支援業務

R7年度寄港実績およびR8年度寄港予定

R7年度寄港実績及び予定						
No	入港日時	出港日時	船名	総トン数(GT)	船籍	乗船人数（概算）
1	2025/11/23（日）10:00	2025/11/24（月）14:00	にっぽん丸	22,472	日本	200名
2	2025/11/26（火）07:00	2025/11/26（水）22:00	CORAL GEOGRAPHER	5,602	オーストラリア	120名
3	2026/3/3（火）21:45	2026/3/4（水）21:30	LE JACQUES CARTIER	9,988	フランス	294名
4	2026/3/10（火）10:30	2026/3/10（火）21:00	飛鳥Ⅲ	52,200	日本	950名

R8年度寄港予定						
No	入港日時	出港日時	船名	総トン数(GT)	船籍	乗船人数（概算）
1	2026/6/5（金）13:00	2026/6/5（金）18:30	LE SOLEAL	10,992	フランス	404名
2	2026/10/25（日）7:00	2026/10/25（日）18:00	MITSUI OCEAN FUJI	32,477	日本	458名
3	2027/1/23（土）7:30	2027/1/23（土）17:00	MITSUI OCEAN SAKURA	32,477	日本	458名
4	2027/1/28（木）7:30	2027/1/28（木）17:00	MITSUI OCEAN SAKURA	32,477	日本	458名
5	2027/3/15（月）7:30	2027/3/15（月）19:00	飛鳥Ⅲ	52,265	日本	740名
6	2027/3/19（金）9:00	2027/3/19（金）19:00	LUMINARA	46,750	アメリカ	448名

4. 北部地域観光人材育成業務

人材層ごとに異なる課題（収益化、教育コスト、地域連携）を解決するため、「経営リーダー」「現場実務」「ストーリーテラー」の3つの専門コースを策定した。各層に最適化されたプログラムを提供することで、地域全体のサービス品質と経営力を底上げする。

	1 観光経営リーダー育成 コース	2 現場実務スキル向上 コース	3 やんばるストーリーテラー 育成コース
目的	『やんばるの観光を量から質へ 転換するリーダーの輩出』	『北部地域全体の接客品質の 底上げと、教育コストの削減』	『北部地域の点を線や面に繋 げるコネクターを増やす』
対象	実践者層（地域の意思決定を担う、または今 後担う予定の層） ⇒観光事業者の経営層・マネージャー 自治体・観光協会の若手リーダー	初級～中級（現場での即戦力化を目指す 層） ⇒宿泊、飲食、小売、アクティビティ等の現場ス タッフ（アルバイト・派遣・新卒・中途含む）	職種・役職を問わず、観光客と接点を持つ全 ての方 ⇒宿泊・飲食・小売の現場スタッフ、タクシー運 転手、アクティビティガイド、行政・観光協会職 員など
想定習得スキル	グローバル・アイデンティティ 高付加価値マーケティング データ経営・DX ファイナンスと循環 共創リーダーシップ	ホスピタリティ インバウンド対応 観光案内 SNS発信 AI活用	学術的裏付け力 観光ストーリー構成力 地域連携ネットワーク 翻訳力 環境保全意識

5. やんばるブランドコンセプトづくり

内側からの「やんばる」への想い

「住む人の誇り」をAIを活用して
可視化



12市町村でのWSで
やんばるが1つになっていく
合意形成を仕掛けていく

外側からの「やんばる」への想い

やんばるハッピーアンケート×AI

ワークショップ17回
101名の参加

AIを活用した
ペルソナと住民との対話



AIが導き出した
ブランドコンセプト



AIが導き出したペルソナ

地域住民の想いを乗せた
AIエージェント

観光客の想いを乗せた
AIエージェント

やんばるブランドコンセプトの確立

AIを活用した新たなチャレンジ
(おそらく世界初の試み)

5. やんばるブランドコンセプトづくり

誇りの言葉 と届け方の 発見

インタビューAI『キジブナー』対話 × SCAT分析

【誇りの源泉】

- 1. 固有の自然を体で受け取った記憶
- 2. 人から掛けられた一言
- 3. 先人から受け継いだもの

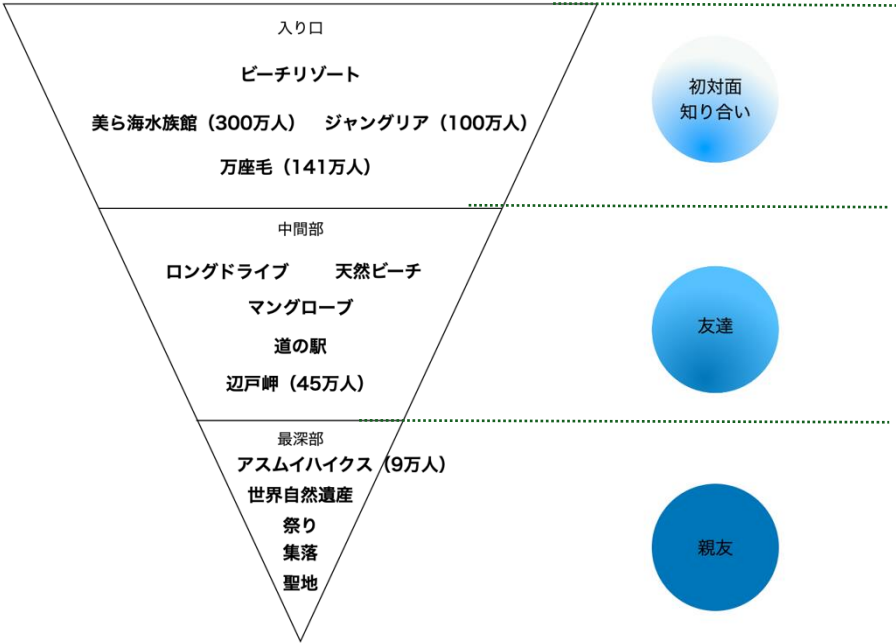
ペルソナ別観光客AI対話 × 分析

【誇りを起点に価値を届ける上で大切にするとよさそうなこと】

- 1. 当たり前すぎて見えにくい価値を見つけ直す
- 2. 静けさ、風、光、土、匂い、何もしない時間が価値の土台になる
- 3. 自然・歴史・文化・暮らし・人・仕事を一体で捉える
- 4. 地域が意味を押しつけず、好みやためらいに合わせて入口を調整する
- 5. 小さな驚きのスイッチを手渡す
- 6. 再訪、再会、紹介、応援へ進む入口を残す

顧客創造 ファネルの 発見

観光コンテンツを分類（仮説）



Yam-Dで検証

n=	4費目 合計	宿泊	NPS	訪問回数
3858人	79,737円	1.64泊	45.0	1-3回
1810人	100,778円	2.3泊	55.6	4-10回
912人	105,976円	2.45泊	66.9	11回以上

北部広域リーディング事業以外の活動 と 新たな取組

1) 観光庁観光DX実証事業

【観光庁事業の取組について】

■ 事業内容

観光庁 令和8年度 地域の新たな観光まちづくり推進事業
(アドバンスドモデル) にて採択された事業

【参考URL】

https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/kihonkei_kaku/jizoku_kankochi/kanko-dx.html

観光データポータル「Yam-D」のデータを活用した**事業者個別ダッシュボード・AIレポート・AIエージェント（Claude）**を無償で一体提供し、事業者が自らデータを見て施策を「立案・実行・検証」できる状態を実現するための実証事業。

・実証期間：2026年9月～2027年1月

・連携事業者：10社

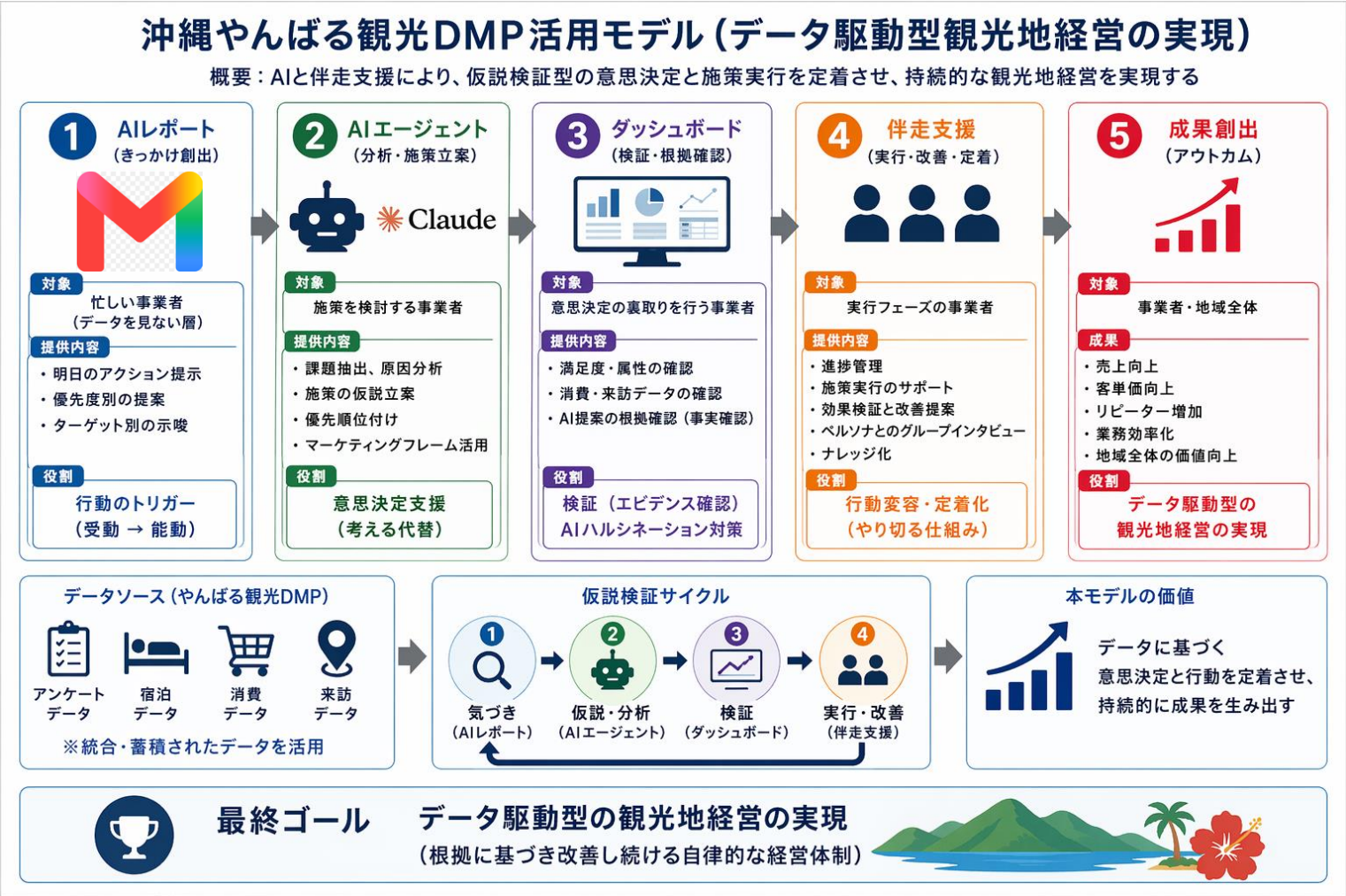
宿泊業、観光施設・体験・アクティビティ提供業、飲食業 等

・対象エリア：やんばる地域（沖縄県北部12市町村）

海洋博公園（沖縄美ら島財団）
おんなの駅 なかゆい市場
JUNGLIA OKINAWA
前田産業ホテルズ
なごアグリパーク
リカリカワルミ
屋我地エコツアーネット
東村観光推進協議会
アスミハイクス
名嘉真荘
一般社団法人沖縄やんばるDMO

11の事業者で、AI活用したデータ分析/施策の展開など 実証事業を展開中

【取組のイメージ】



Yam-D-AI分析レポートβ版（国内アンケート）

2026年8月分

夏休み最盛期の8月、やんばるは子連れ家族が主役の1ヶ月となりました。7月に大きく落ち込んでいた初回来訪者の再訪意向は8月に急回復し、NPSは+58.5と高い水準に達しています。一方、月内に襲来した台風の影響が改善要望に色濃く表れており、台風時の情報発信が新たな課題として浮上しました。

対象期間	比較期間	有効回答	データソース
2026年8月1日～8月31日	2026年7月1日～7月31日	648件（比較期間 694件）	「やんばるのハッピーアンケート（国内）」

発行
沖縄やんばるDMO

01 EXECUTIVE SUMMARY

初回客の再訪意向が急回復し、NPSは+58.5へ。8月は子連れ家族が主役となった。

有効回答数

648件
前月比 ▲46件（▲6.6%）

満足以上率（大変満足＋満足）

90.3%
+1.0pt（大変満足 52.9%）

NPS（推奨度）

+58.5
+5.2pt（推奨65.7% / 批判7.3%）

初回客「必ず来たい」率

70.8%
+17.5pt（前月53.3%から急回復）

子連れ家族率

54.3%
+21.9pt（前月32.4%）

一人当たりやんばる地域内消費額

92,812円
+6.2%（前月 87,413円）

やんばる地域内 宿泊率

65.4%
▲2.0pt（宿泊 424件）

平均泊数（全回答者ベース）

1.81泊
+0.13泊（宿泊者のみでは2.77泊）

第4章 宿泊・滞在・観光消費

2026年9月18日配信開始

問い：滞在は宿泊と消費につながっているか。

やんばる地域内宿泊率は65.4%（▲2.0pt）と微減した一方、宿泊する人の滞在は長期化し、平均泊数は全回答者ベースで1.81泊（+0.13泊）、宿泊者のみでは2.77泊（前月2.49泊）に伸びました。一人当たりやんばる地域内消費は**92,812円（+6.2%）**で、費目別では飲食費（+11.5%）と観光費（+11.5%）の伸びが大きく、家族層の体験・飲食需要が単価を押し上げています。

図 4-1 やんばるの地域内宿泊数の分布（2026年8月・n=648）

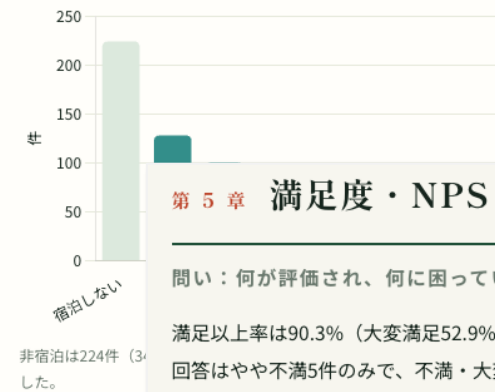


図 4-2 費目別 一人当たり消費額の前月比較（単位円・中点換算）



第5章 満足度・NPS・観光客の声

問い：何が評価され、何に困っているか。

満足以上率は90.3%（大変満足52.9%＋満足37.3%）と初めて9割に乗り、NPSも**+58.5（+5.2pt）**と改善しました。不満系の回答はやや不満5件のみで、不満・大変不満は0件です。そして今月最大のトピックは、7月データで急落していた**初回来訪者の再訪意向が急回復した**ことです。

図 5-1 体験・サービス満足度の分布（2026年8月・n=648）

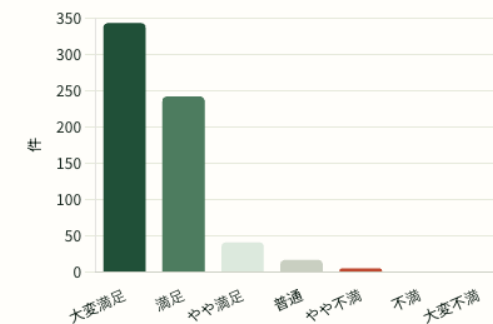
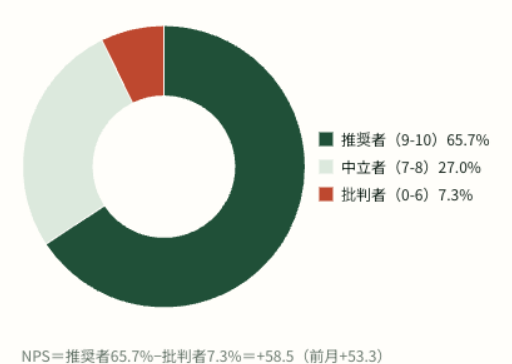


図 5-2 NPS構成（推奨度0-10・n=648）



Yam-D-AI分析レポートβ版（宿泊OTAデータ）

やんばる全体版

2026年9月後半号 宿泊OTAデータ（2026年9月16日時点）

OTA（オンライン旅行代理店）宿泊データに基づき、9月（9/1～14確定・9/15～30予定）の実績確認、これからの16日間（9/15～30）の先読み、その先（10/1～12/15）の見通し、沖縄県内4エリアでの位置づけ、宿泊タイプ・エリア別ベンチマーク、口コミの動向をまとめました。今号では前号（9月前半号）の先読みと実績の答え合わせも行っています。

今号対象月（第3章）	先読み期間（第4章）
2026年9月1日～30日（9/1～14確定・9/15～30予定）	2026年9月15日～30日（予定データ・16日間）
見通し期間（第5章）	集計対象
2026年10月1日～12月15日（予定データ・半月単位）	やんばる北部4エリア 約574軒（沖縄県内比較のみ県全体）

データソース
OTA宿泊データ

01 EXECUTIVE SUMMARY

シルバーウィークが9月後半を押し上げ、前半実績を上回る見込み — 前号警告の「谷」は直前予約で解消

2026年9月 客室稼働率
（9/1～14確定＋9/15～30予定）

66.74%

前年同月比 ▼10.84pt
（2025年9月 77.58%）

2026年9月 平均単価ADR
（確定＋予定）

74,867円

前年同月比 ▲59.1%（2025年9月 47,066円）

前号先読みの答え合わせ
（9/1～14）

+5.29pt上振れ

れ

見込み60.86%→実績66.15%（2号連続の上振れ着地）

これからの16日間 稼働率見込み（9/15～30）

67.26%

9月前半実績比 ▲1.11pt（シルバーウィークが牽引）

シルバーウィーク（9/19～23）見込み

76.98%

ピークは9/20（日）の87.46%・前号時点の見込みから▲5.36pt上積み

最も弱い日（先読み期間中）

9/18（金）

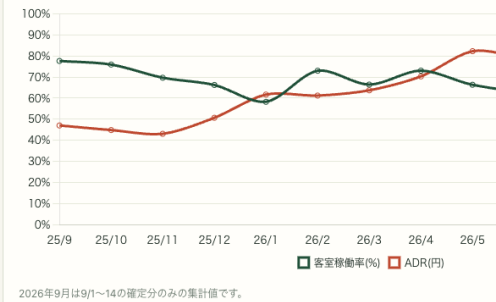
予定稼働率61.19%・金曜平均比 ▼5.95pt

第2章 直近1年の推移

問い：この1年、やんばるの宿泊市場に何が起きているか。

「量から単価へ」の構造転換が続いています。客室稼働率は2025年9～10月の76～78%を天井に切り下がり、直近の確定値は8月67.14%・9月前半（9/1～14）66.15%です。一方ADRは2025年11月の43,114円を底に上昇を続け、夏ピークの8月94,714円のと、9月は74,867円へと季節的な正常化に入りました。それでも前年9月（47,066円）と比べれば▲59.1%の高い水準です。

図 2-1 月次推移 | 客室稼働率・平均単価（2025年9月～2026年9月・確定値）



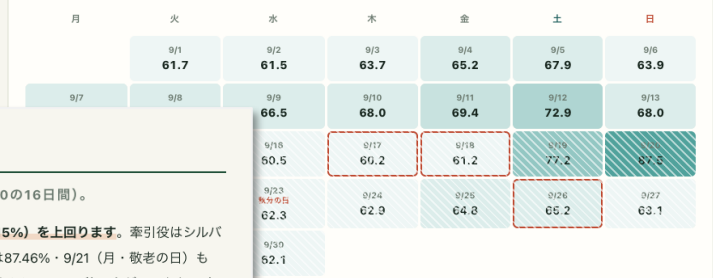
2026年9月18日配信開始

第3章 9月の実績 — 答え合わせ

問い：9月（9/1～14確定＋9/15～30予定）の実績・見込みを確認する章です。自館の実績と重ねてご確認ください。

9月は確定と予定を合わせて66.74%・ADR74,867円の見込みです（前年9月比▼10.84pt・▲59.1%）。確定した9/1～14は66.15%で、**前号の先読み（60.86%）を+5.29pt上回りました**。日別では61.5%で始まった月初から週を追って水準が切り上がり、9/12（土）に72.85%のピーク。前号が「手を打つべき日」と警告した9/13（見込み58.44%）・9/14（同57.78%）は、実績67.95%・65.96%で**+8～9ptの上振れで谷になりませんでした**。9/15以降の予定は、連休直前の9/16～18が60%前後に沈んだ後、シルバーウィーク（9/19～23）が77～87%の山を作る形です。なお前年同期（9/1～14）比の▼16.21ptは、前年は9/13～15が3連休だった影響（連休の位置ズレ）を含む点にご留意ください。

図 3-1 日別カレンダー | 客室稼働率（9/1～30・9/14まで確定＋9/15～30予定）

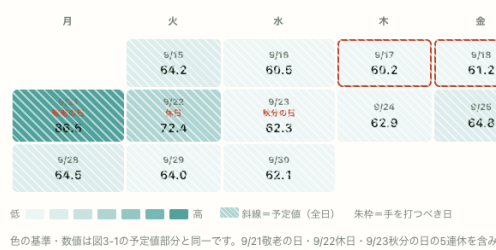


第4章 これからの15日間 — 先読み

問い：直近の確定実績の続き、これから2週間強はどう動くか（今号は9/15～30の16日間）。

9/15～30の予定稼働率は平均67.26%・ADR75,109円の見込みで、**9月前半の実績（66.15%）を上回ります**。牽引役はシルバーウィーク5連休（9/19～23）で、平均76.98%・ADR84,294円、ピークの9/20（日）は87.46%・9/21（月・敬老の日）も86.55%と、お盆週を上回る水準の見込みです。前号時点の連休見込み（71.62%）からさらに▲5.36pt積み上がっており、直前予約はなお伸びています。一方、**連休直前の9/16～18は60～61%と期間の谷で**、連休明けの9/24～30も62～65%の風が続く形です。前年同期（73.41%）との比較では▼6.15ptですが、確定が進めば差はさらに縮まる可能性があります。

図 4-1 日別の予定稼働率（9/15～30）

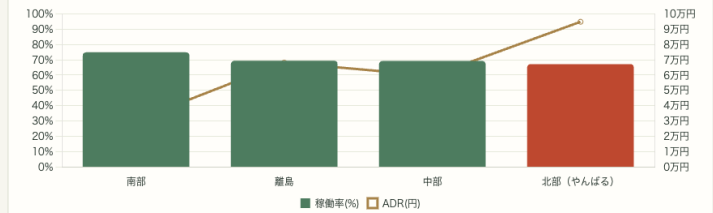


第6章 沖縄県内での位置づけ

問い：やんばる（北部）は、沖縄県全体の中でどんな立ち位置にあるか。

直近の確定日である2026年8月で沖縄県内4エリアを比べると、稼働率は南部74.83%>離島69.33%>中部69.18%>**北部（やんばる）67.14%**で、**北部は4エリア中最下位**が続いています。一方ADRは北部94,714円が県内トップで、2位の離島（68,134円）に26,580円の差をつけています。「県内で最も高く売り、最も埋まっていない」という北部の構造に変化はありません。

図 6-1 沖縄県4エリア比較 | 客室稼働率・ADR（2026年8月確定）



Yam-D_AI分析レポートのメール配信 本日から登録受付開始！

Yam-D (やんでい) 上からメールアドレスを登録

レポートの閲覧方法とメール配信の登録の流れ

レポートの閲覧方法とメール配信の登録の流れ

- 1 該当月の緑色の
「詳細を見る」をクリック

Yam-D_AI分析レポート

Yam-D_AI分析レポートβ版 (案内アンケート)

12月 (2024年12月)	1月 (2025年1月)
2024年12月1日～12月31日	2025年1月1日～1月31日
詳細を見る	詳細を見る

Yam-D_AI分析レポートβ版のページで、見たい月の「詳細を見る」をクリックすると、案内ページが開きます。

- 2 メール配信を希望する方は
フォームから登録

一般社団法人沖縄やんばるDMO
Yam-D_AI分析レポートβ版

[レポートを見る](#)

メール配信もしています
☒ プライバシーポリシーに同意して登録する

[メール配信に登録する](#)

チェックを入れて「メール配信に登録する」を押すと、登録フォームが開きます。

- 3 「レポートを見る」で
レポートを閲覧

一般社団法人沖縄やんばるDMO
Yam-D_AI分析レポートβ版

[レポートを見る](#)

メール配信もしています
☐ プライバシーポリシーに同意して登録する

[メール配信に登録する](#)

メール配信を希望されない方も、このボタンからそのままご覧いただけます。

※ 一度登録ボタンを押すと、次回からはこの案内ページは表示されず、レポートが直接開きます (同じパソコン・スマートフォン、同じブラウザでご覧の場合)。



2) 令和8年度「新たな沖縄観光サービス創出支援事業費補助金」

スマート（AI）グラスを活用した ガイド商品の多言語対応（高付加価値化）にチャレンジ

令和8年度
新たな沖縄観光サービス
新創出事業

この自然を、
未来へつなぐ
観光のかたち。

やんばるの、
いのちがめぐる旅を、これから。

やんばるから、
つながる未来へ

地域の案内力とデジタルを
組み合わせ、持続可能な観光受入体制へ

今回の実証で目指すこと

一時的な実証で終わらせず、地域に暮らす人が自ら地域の魅力を伝え、
継続的な仕事と観光収入を生み出せる仕組みをつくります。

01 言語の壁を越える



AIスマートグラスを活用し、
日本語だけでも外国人旅行者を案内
できるかを検証します。

02 地域住民が
ガイドとして活躍



台本づくりと実地研修を通じて、
未経験者でも地域ガイドとして活躍できる
環境を整え、
地域住民の新たな仕事の創出を目指し
ます。

03 持続可能な観光収入へ



外国人モニターの声をもとに
体験内容や受入方法を改善し、
実証後も継続して販売できる
観光商品を目指します。

今帰仁村、東村、伊是名村 のガイドツアー

3) 「やんばる観光連携事業」提案を募集 (1/3)

やんばる観光連携事業は、やんばる地域（北部12市町村）における広域的な観光課題解決に向けて、民間事業者独自のアイデアと沖縄やんばるDMOとの連携を掛け合わせる提案制度です。



10社（11件）の連携事業提案

3) 「やんばる観光連携事業」提案を募集 (2/3)

うふやんばる森がたりプロジェクト チームうふやんばる

1/2

うふやんばる 森がたりプロジェクト

森の知恵をつなぎ、学びを育てる

人と自然が共生してきた 300 年の知恵を、学びの力で未来へ

「うふやんばるの森」は、人の手が全く入っていない原生林のような森であると誤解されることも少なくありません。しかし実際には、人々が「育てながら使い、使いながら育てる」ことで、人と自然の共生を実現してきた「**唯一無二の歴史・文化**」を持つ、世界に誇れる希少な地域です。

1 事業の背景・目的

都市に暮らす私たちは、森林の恩恵を受けながらも、その背景にある人々の営みや歴史・文化を知る機会はありません。本事業では、うふやんばるの森の価値を正しく伝えるための「学びのコンテンツ」を制作し、ガイド人材の育成と県民・観光客の事前学習を通じて、森林への理解と感謝を育みます。

2 事業の目指すところ

目指す姿

林業・生物多様性・文化・観光をつなぐ情報ハブへ

分散する知識と人を結び、森の課題解決と価値発信につなげる

目標

- 森の価値を理解し、自分の言葉で伝えられる
- 分野を越えて知識を共有し、教育・観光に活かす
- 地域の収入と森の維持管理につなげる

2027年度末まで

STEP 3
までを進める
(右記参照)

2035年度末まで

県内外の小学生
1,000人以上への
出前授業
2026年度以降の累計

将来目標

1億円規模の
資金流通

3 コンセプト “人と自然が共生してきた世界でも希少な森林モデルを知り・学ぶ”

300 年受け継がれてきた知恵を未来へつなぎ、ネイチャーポジティブ時代の森林業 態をま、ともに考えます。

4 実施体制

沖縄やんばるDMO × チームうふやんばる

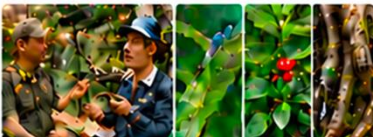
学びが森を守り、森が未来を育てる。うふやんばるの知恵を、次の100年へ。

2/2

5 事業内容(7つのステップ)

1 一次情報の収集・記録

地域に残る森林文化・歴史・林業・集落の知恵や、樹種・生態系の一次情報を収集・記録
インタビュー動画、音声、写真、資料収集、樹種調査、撮影、現場取材



2 学術的な検証・監修

大学等の有識者による監修により、客観性・正確性・教育性の高い学習コンテンツとして構成
歴史学、森林科学、生態学、民俗学、観光学



3 「うふやんばるの森の物語」のストーリー設計

300年の歴史と人の営みを一本の物語として整理(テーマ例)
森林政策の歴史、やんばる型森林業、世界自然遺産、都市とのつながり



4 学習コンテンツの整備・公開

教育・観光・企業研修などで活用できるコンテンツを制作・公開
研修用動画 事前学習用教材
音声ガイド デジタルアーカイブ



5 ガイド育成プログラム・教材制作

誰でも一定水準で解説できるよう、ガイド用教材、マニュアルを作成
ガイドマニュアル スライド・台本
研修動画 現地解説想定 多言語対応



6 ガイド育成研修

制作した教材を活用し、地域ガイドを育成
歴史・文化、林業の理解、ストーリーテリング、ガイド技術等を講義



7 モニターツアーによる実証(教材改善)

育成したガイドによる実証を行い、内容をブラッシュアップ
(対象)県民、観光客、教育関係者、旅行事業者、企業研修担当者 等



6 成果物イメージ(一例)

研修用動画 事前学習教材(冊子・PDF) 音声ガイド(音声データ) デジタルアーカイブ 多言語コンテンツ

7 期待される効果

環境負荷と森林の恩恵を自分事として捉える人の増加、やんばるDMO独自の観光・教育商品の創出、地域文化・森林知識の継承、木材製品・地域産業の付加価値向上、関係人口・リピーターの創出

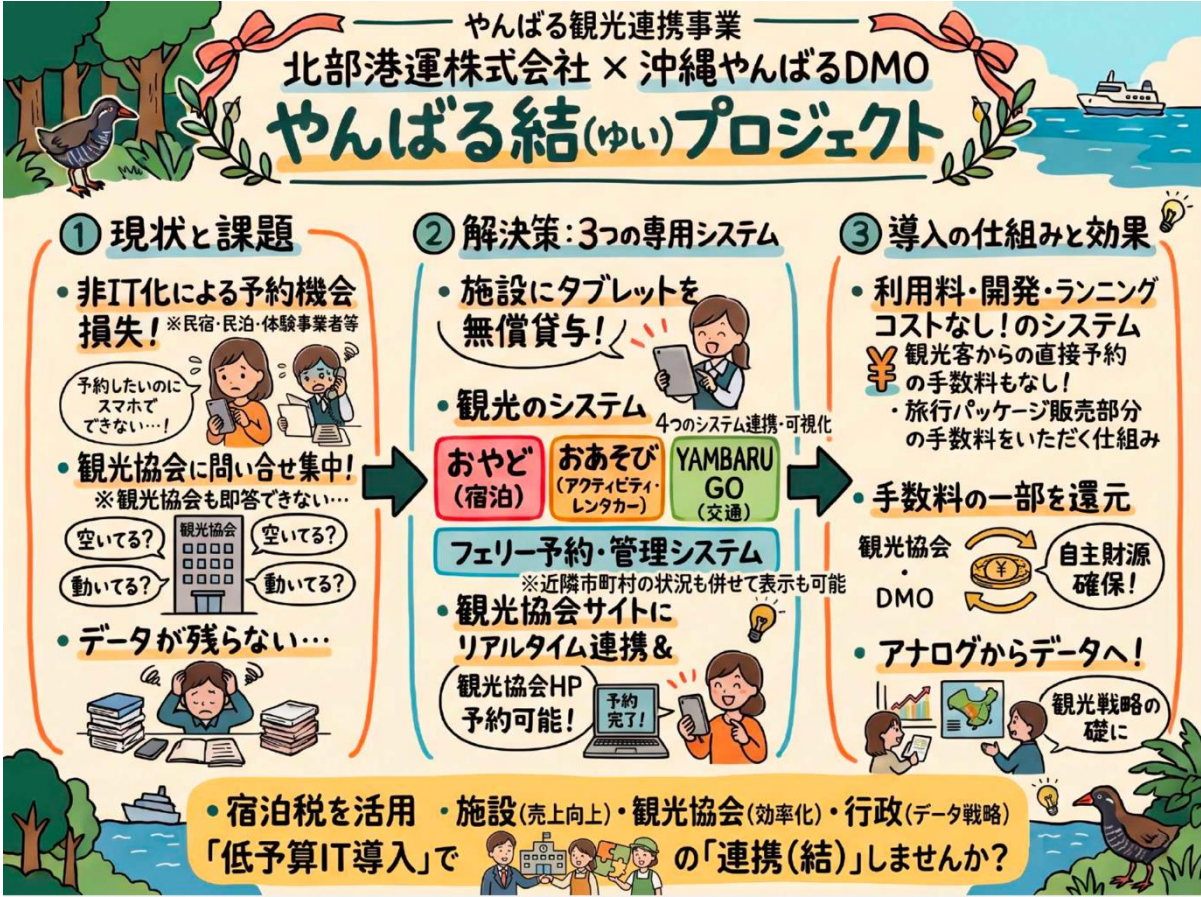


提案の中から、最初の連携事業開始！

34

3) 「やんばる観光連携事業」提案を募集 (3/3)

離島等での一括（代行）宿泊予約システム 北部港運株式会社



地域人材が主役となる持続可能な 二次交通・体験共創モデル TRAPOL株式会社

01 | やんばるが抱える課題と解決アプローチ

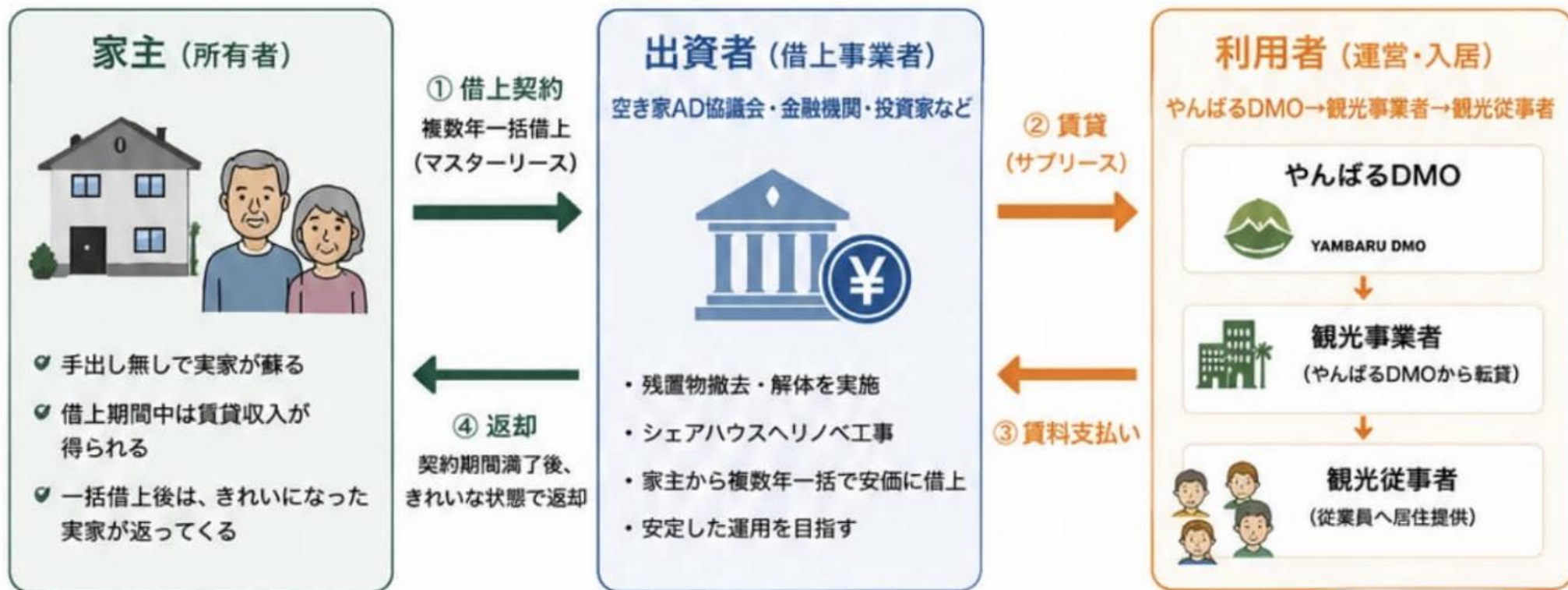


検討/調整中の事業

4) やんばるレジデンス構想

空き家活用シェアハウス スキーム

歴史ある空き家を活用し、観光従事者の住まい不足を解決する三方よしの仕組み



具体的な物件で検討中



沖縄やんばるDMO 実行体制

社員（3社）

北部広域市町村圏事務組合
沖縄北部地域観光協会
公立大学法人 名桜大学

理事（10名）・監事（1名）

代表理事 中村 靖
(一般社団法人沖縄やんばるDMO)

理事 渡具知 武豊
(北部広域市町村圏事務組合 理事長)

理事 比嘉 明男
(沖縄北部地域観光協会 会長)

理事 林 優子
(公立大学法人 名桜大学 教授)

理事 湧川 盛順
(一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長)

理事 佐藤 大介
(株式会社 ジャパンエンターテインメント 取締役副社長)

理事 前田 裕子
(株式会社前田産業ホテルズ 取締役会長)

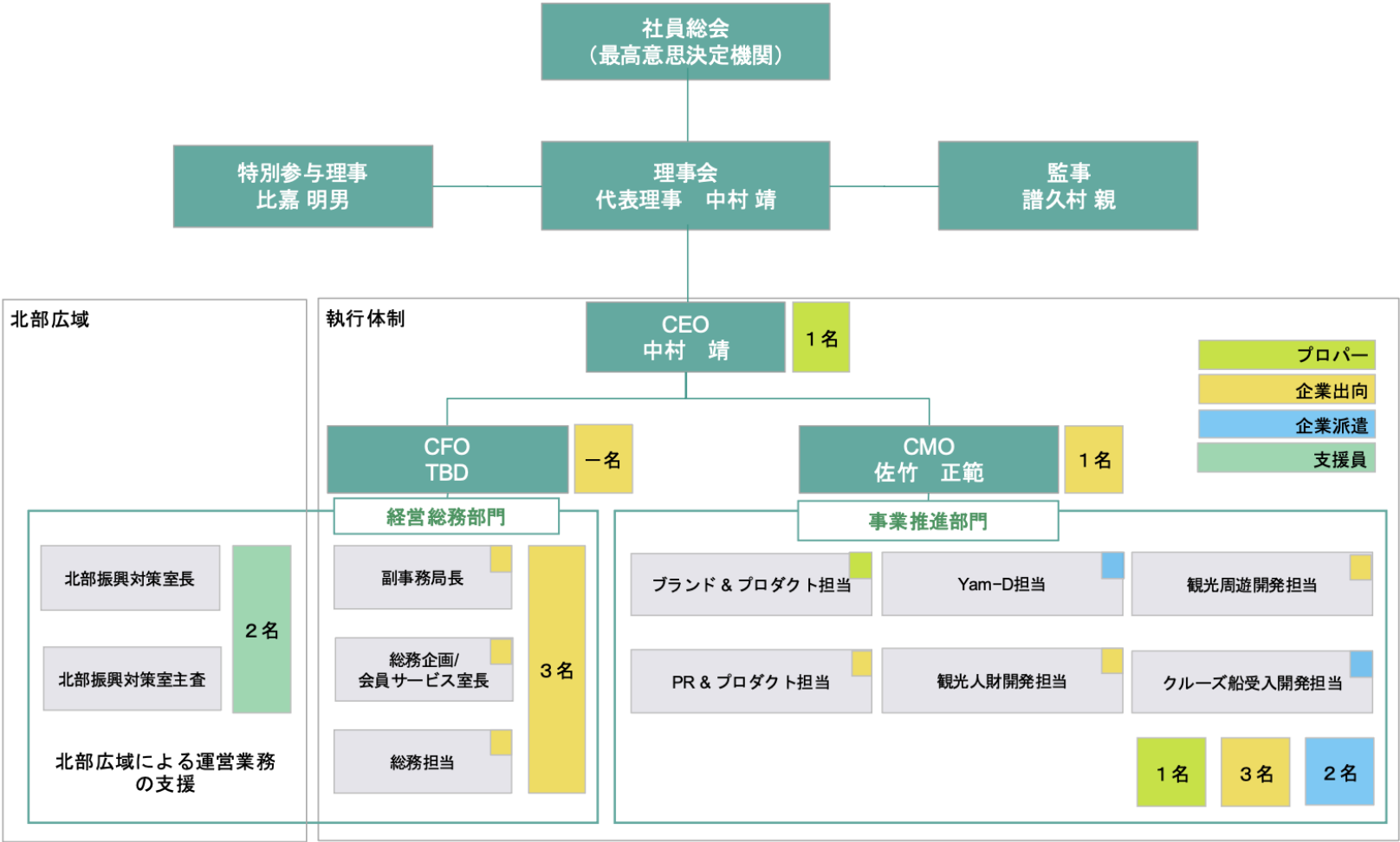
理事 山城 克己
(沖縄県バス協会 会長)

理事 當山 智士
(NPO法人ツール・ド・おきなわ協会 実行委員長)

理事 金城 康司
(一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 専務理事)

監事 譜久村 親
(株式会社みらいおきなわ 代表取締役社長)

組織体制



No	雇用形態	出向・派遣元企業
1	採用	-
2	出向	株式会社PUREWORKS沖縄
3	出向	オリオンホテル株式会社
4	出向	株式会社沖縄銀行
5	出向	株式会社日本旅行沖縄

No	雇用形態	出向・派遣元企業
6	出向	一般財団法人沖縄美ら島財団
7	出向	日本トランスオーシャン航空株式会社
8	派遣	北部港運株式会社
9	派遣	NTT西日本株式会社

沖縄やんばるDMO 会員紹介（人的支援）



PUREWORKS

株式会社PUREWORKS沖縄

The Orion Hotel
Motobu Resort & Spa

オリオンホテル株式会社

① 沖縄銀行

oFG おきなわフィナンシャルグループ

株式会社沖縄銀行

NTT西日本

NTT西日本株式会社 沖縄支店

日本旅行沖縄
NIPPON TRAVEL AGENCY OKINAWA

株式会社日本旅行沖縄



北部港運株式会社

北部港運株式会社



一般財団法人沖縄美ら島財団



JTA
日本トランスオーシャン航空

日本トランスオーシャン航空株式会社

沖縄やんばるDMO 会員

番号	申請日	応募区分	企業名	観光協会・商工会	番号	申請日	応募区分	企業名
1	2月5日	人的支援	株式会社PUREWORKS沖縄		38	5月19日	金銭的及び物的支援	やんばる工房株式会社
2	2月9日	物的支援	ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校	名護市観光協会	39	4月8日	金銭的支援	株式会社サポートスタッフ沖縄
3	2月12日	人的支援	オリオンホテル株式会社	本部町観光協会	40	5月19日	金銭的支援（免除）	株式会社山浩商事
4	2月16日	人的支援	株式会社沖縄銀行		41	5月25日	金銭的支援（免除）	名護漁業協同組合
5	2月16日	人的及び金銭的支援	NTT西日本株式会社 沖縄支店		42	5月20日	金銭的支援	TIS株式会社
6	2月16日	人的支援	株式会社日本旅行沖縄		43	5月29日	金銭的支援	株式会社丸金交通
7	2月16日	人的支援	北部港運株式会社		44	5月27日	物的支援	OTS MICE MANAGEMENT株式会社
8	2月11日	金銭的支援	STARGATE ENTERTAINMENT	名護市観光協会	45	5月29日	金銭的支援	株式会社日建ハウジング やんばる支店
9	2月13日	金銭的支援（免除）	株式会社伊江島観光バス北部営業所	本部町観光協会	46	5月29日	金銭的支援	株式会社Region
10	2月15日	物的支援	株式会社沖縄どきどきツアーズ	名護市観光協会	47	5月25日	物的支援	OSC株式会社
11	2月16日	物的支援	株式会社沖縄ガード	名護市観光協会	48	5月25日	金銭的支援（免除）	屋我地エコツアーネット
12	2月16日	金銭的支援（免除）	沖縄観光商事株式会社 海の旅亭おきなわ名嘉真荘	恩納村観光協会	50	4月17日	物的支援	株式会社森のガラス館
13	2月17日	金銭的支援（免除）	株式会社ゆがふホールディングス	名護市観光協会	51	6月5日	物的支援	株式会社ジャパンエンターテイメント
14	2月17日	金銭的支援（免除）	株式会社沖縄映像センター北部営業所	名護市観光協会	52	6月4日	金銭的支援	オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社
15	2月19日	金銭的支援（免除）	やんばる案内人Tida-Smile	東村観光推進協議会	53	6月11日	金銭的支援	株式会社伊藤園 沖縄工場
16	2月19日	金銭的支援（免除）	株式会社琉球若草	名護市観光協会	54		物的支援	株式会社TiBee
17	2月21日	金銭的支援（免除）	KANAU株式会社 古宇利島の駅ソラハシ	今帰仁村観光協会	55	6月25日	金銭的支援	株式会社東開発
18	2月24日	金銭的支援	株式会社前田産業ホテルズ	名護市観光協会	56	7月2日	金銭的支援（免除）	一般社団法人資源活用管理協会
19	2月13日	金銭的支援	株式会社近畿日本ツーリスト沖縄		57	7月6日	金銭的支援	Chris Willson Photography / TRAVEL67.com
20	3月2日	金銭的支援	沖縄JTB株式会社		58	7月13日	金銭的支援	TRAPOL株式会社
21	3月10日	金銭的支援（免除）	名護市観光協会青年部STEP	名護市観光協会	59		金銭的支援（免除）	有限会社やんばる自然塾
22	2月27日	金銭的支援（免除）	株式会社カヌチャベイリゾート	名護市観光協会	60	7月14日	金銭的支援（免除）	株式会社Endemic Garden H
23	3月14日	金銭的支援	一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会		61	6月30日	金銭的支援	東武トップツアーズ株式会社沖縄支店
24	2月24日	人的支援	一般財団法人沖縄美ら島財団	本部町観光協会	62	6月23日	協賛金	琉球セメント株式会社
25	3月18日	人的支援	日本トランスオーシャン航空株式会社		63	7月14日	金銭的支援	KDDIスマートモビリティ株式会社
26	3月19日	金銭的支援	合同会社Star51		64	8月6日	金銭的支援	大同火災海上保険株式会社
27	3月25日	金銭的支援（免除）	株式会社わんさか（わんさか大浦パーク）	名護市観光協会	65	8月10日	金銭的支援	チームうふやんばる
28	3月27日	金銭的支援	沖縄ツーリスト株式会社	—	66	8月24日	金銭的支援	株式会社オキジム 北部支店
29	3月27日	金銭的支援	株式会社エバグリーンモビリティ	—	68	8月25日	金銭的支援	tradinet one
30	3月30日	金銭的及び物的支援	沖縄セルラー電話株式会社	—	69	8月25日	金銭的支援	スポーツツーリズム沖縄
31	3月26日	金銭的支援	株式会社地域創生Coデザイン研究所	—	70	9月11日	金銭的支援（免除）	有限会社 渡具知
32	4月3日	金銭的支援	沖縄トヨタ自動車株式会社	名護市観光協会	71	9月11日	金銭的支援（免除）	一般社団法人やんばるナゴクラブ
33	4月7日	金銭的支援	株式会社AMS設計	名護市観光協会	72	9月21日	金銭的支援（免除）	株式会社ラグーンリゾート名護（オリエンタルホテル沖縄リゾート&スパ）
34	4月1日	金銭的支援	アスミハイクス	国頭村観光協会	73	9月23日	金銭的支援	合同会社やんばるジェラート
35	4月6日	金銭的支援	合同会社アトリエマンセル	—	74	9月23日	金銭的支援	やんばるサイクルツーリズム
36	4月13日	金銭的支援	株式会社ハートボイルド	名護市観光協会	75	9月23日	金銭的支援	一般財団法人南西地域産業活性化センター
37	4月30日	物的支援	WHILL株式会社	—				

沖縄やんばるDMO 会員紹介（行政/観光協会/教育機関）

12市町村

名護市
国頭村
大宜味村
東村
今帰仁村
本部町
恩納村
宜野座村
金武町
伊江村
伊平屋村
伊是名村

12市町村観光協会

公益財団法人名護市観光協会
一般社団法人国頭村観光協会
一般社団法人 大宜味村観光協会
NPO法人 東村観光推進協議会
一般社団法人今帰仁村観光協会
一般社団法人 本部町観光協会
一般社団法人 恩納村観光協会
一般社団法人宜野座村観光協会
一般社団法人 金武町観光協会
伊江島観光協会
一般社団法人 伊平屋島観光協会
一般社団法人いげな島観光協会

会員数 **98** 企業・団体 2026年9月31日時点

6月5日 設立事業説明会の開催

【目的】 沖縄やんばるDMO設立とその事業内容についての周知および、社員（株主）および関係機関や会員をはじめとする関係者との結束。

(1) 事業説明会

- ・日時:2026 年 6 月 5 日(金) 15:30~17:00
- ・場所:名護市民会館 中ホール(オンライン併催)
- ・参加者数:総勢 216名(内訳は「4.参加者詳細」に記載)

(2) 意見交換会

- ・日時:2026 年 6 月 5 日(金) 17:30~19:00
- ・場所:オリオンハッピーパーク(レストランやんばるの森)
- ・参加者数:総勢 133名(内訳は「4.参加者詳細」に記載)

参加者 事業説明会 **216**名 意見交換会 **133**名



社員代表挨拶



フォトセッション



理事代表挨拶



会場の様子

沖縄やんばるDMO 事業説明 (47回) & 会員募集の活動

4月 8日 名護ロータリークラブ
 4月 27日 沖縄銀行名護、本部支店取引先懇親会
 5月 7日 名護市商工会三役会
 5月 18日 名護漁業協同組合
 5月 20日 全国空き家アドバイザー協議会沖縄県名護支部
 5月 27日 沖縄観光コンベンションビューロー
 5月 27日 奄美・沖縄ガイドネットワーク
 5月 29日 沖縄県文化観光スポーツ部
 5月 29日 北部法人会通常総会
 6月 9日 名護市観光協会青年部STEP
 6月 12日 北部観光協会総会
 6月 12日 コザ信金業務報告会
 6月 15日 沖縄の未来・笑顔を作る会（北部地区）
 6月 17日 名護青年会議所
 6月 19日 沖縄県産業振興公社
 6月 23日 ライオンズクラブ夜間例会
 6月 24日 大宜味村表敬訪問
 6月 24日 今帰仁村表敬訪問
 6月 26日 沖縄振興審議会 総合部会専門委員会（ゲストスピーカー）
 6月 29日 伊江島観光協会定時総会
 6月 29日 国頭村観光協会総会
 6月 30日 沖縄県スポーツ協会
 7月 1日 沖縄県商工労働部
 7月 2日 金武町長表敬訪問
 7月 2日 沖縄県中小企業同友会北部支部
 7月 3日 東村長表敬訪問
 7月 3日 国頭村長表敬訪問
 7月 6日 沖縄科学技術大学院大学（OIST）
 7月 7日 恩納村長表敬訪問
 7月 13日 宜野座村長表敬訪問
 7月 27日 北部広域市町村圏事務組合議会
 7月 29日 GW2050
 8月 3日 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
 8月 12日 伊平屋村長表敬訪問
 8月 12日 伊是名村長表敬訪問
 8月 20日 沖縄県観光審議会
 8月 28日 北部国道事務所
 8月 31日 伊江村長表敬訪問
 9月 2日 名護市辺野古区長
 9月 3日 南西地域産業活性化センター
 9月 3日 沖縄県経済同友会
 9月 4日 沖縄振興開発金融公庫
 9月 4日 沖縄県中小企業家同友会（講演）
 9月 14日 八重山ビズターズビューロー
 9月 16日 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
 9月 18日 沖縄北部地域観光協会 伊平屋会議
 9月 28日 タピック



3日に1回！



2026年6月8日
やんばる経済新聞（Yahoo!ニュース）

北部観光 交通に課題 やんばるDMOが説明会

琉球新報



2026年6月20日
琉球新報



NEWS.WEB.NHK
沖縄本島北部の振興を「沖縄やんばるDMO」事業説明会 名護 | NHKニュース

2026年6月8日 NHK

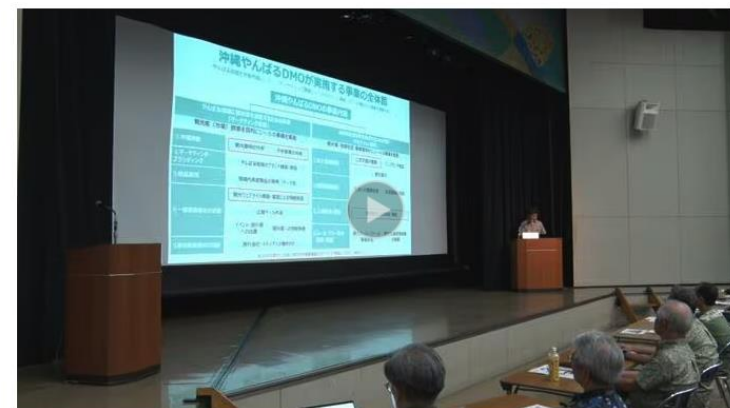
琉球朝日放送



TBS NEWS DIG



地域資源を生かしやんばるの魅力を発信 北部地域の観光”司令塔”「沖縄やんばるDMO」が事業説明会



RBC 琉球放送

2026年6月11日(木) 14:48



2026年6月2日 沖縄タイムス



2026年5月8日 琉球新報



2026年5月26日 琉球新報

仏クルーズ船初寄港 本部港で記念式典

公開日時 2026年06月11日 05:00



フランス船籍のクルーズ船「ル・ソリアル」の本部港への初寄港を歓迎した本部町の平良武康町長（右から4人目）と、ビエール・マリ・ル・デュブロン船長ら（中央）＝5日、本部町

2026年5月11日 琉球新報



2026年5月23日 沖縄タイムス



沖縄総合事務局の広報誌「むりぶし」5・6月号⁴⁵

琉球新報 2026年8月20日

沖縄観光は今、大きな転換点を迎えている。観光客数を競う時代から、地域全体の価値を高める「観光地域経営」への転換が求められている。

人口減少や少子高齢化が進む中、地域によっては生産力や消費力の低下が課題となっている。地域を持続的に発展させるためには、地域外から新たな需要を呼び込み、その収益を地域経済へ還流させることが欠かせない。観光は、そのための重要な手段である。

本年4月、北部12市町村と北部地域観光協会、名桜大学を社員とする沖縄やんばるDMOが設立され、持続可能な観光地域づくりに取り組んでいる。私たちが目指すのは「DMOが稼ぐ」のではなく「地域が稼ぐ」



中村 靖

論壇

「地域が稼ぐ」仕組みを

オフシーズンの魅力高め、1年を通して安定した観光需要を生み出すこと。そして、観光客数だけを追うのではなく、滞在時間や消費額、満足度を高める「量より質」の観光地域経営へ転換することである。沖縄には、美しい自然だけではなく、地域ごとに異なる歴史や文化、

大きな転換点迎えた沖縄観光

の人々との触れ合いが多い旅行を通して安定した観光需要をほぼ満足度が高く、「また来たい」「誰かに勧めたい」という思いにつながる傾向が見えてきた。旅の価値をつくるのは景色だけではない。地域の人々との交流や、その土地ならではの文化や営みに触れる体験が、心に残る旅を生み出すのである。

仕組みをつくることである。では、それをどう実現するのか。私は人の流れ、時間、地域の価値を広げることが重要だと考えている。人の流れを「南から北へ、西海岸から東海岸へ、島から島へ」と広げ、観光の恩恵を地域全体へ届けること。繁忙期だけに依存するのではなく、

経験や勤は地域の大切な財産である。しかし、それにデータやAIという新たな視点を加えることで、地域の魅力や課題を見える化し、より効果的な観光地域経営につなげることができ。AIやデータは目的ではない。地域を豊かにするための手段である。

観光の目的は観光客を増やすことではない。地域を豊かにすることである。地域が連携し、それぞれの魅力を磨き、地域外から得た収益を地域へ還流させる。その積み重ねが、人々の暮らしを支え、文化を未来へ受け継ぎ、「また来たい」「誰かに勧めたい」と思われる地域を育てる。観光地域経営であり、沖縄の未来につながることを信じている。(名護市、沖縄やんばるDMO代表理事兼CEO、66歳)

琉球新報 2026年8月20日

論壇

県では来年2月から観光目的税(宿泊税)を導入される予定である。新たな財源を「どこに、いくら配分するか」は重要だ。しかし同時に、宿泊税によって「地域にどんな変化を生み出すのか」という議論が必要ではないだろうか。私は、観光は目的ではなく「地域を豊かにする手段」だと考えている。

観光振興というと、施設整備や案内板、トイレ、プロモーションなどを思い浮かべやすい。もちろん、それらも重要である。



中村 靖

宿泊税の使途

しかし、観光と地域が抱える課題は切り離せない。

例えば、やんばるでは人材確保に苦悩する事業者がいる一方、地域には空き家がある。「働く人はいるが住む場所がない」のであれば、それは住宅だけの問題ではない。観光、雇用、人口減少、空き家、地域コミュニティがつながった課題である。空き家を活用し、観光やITなどで働く人が地域に住めば、消費や交流が生まれ、地域に新しい明かりがともる。

2次交通も同じだ。観光客と住民の日常の移動は、分けて考える必要がある。観光客に適した移動手段を整え、レンタカーへの過度な依存を減らせれば、

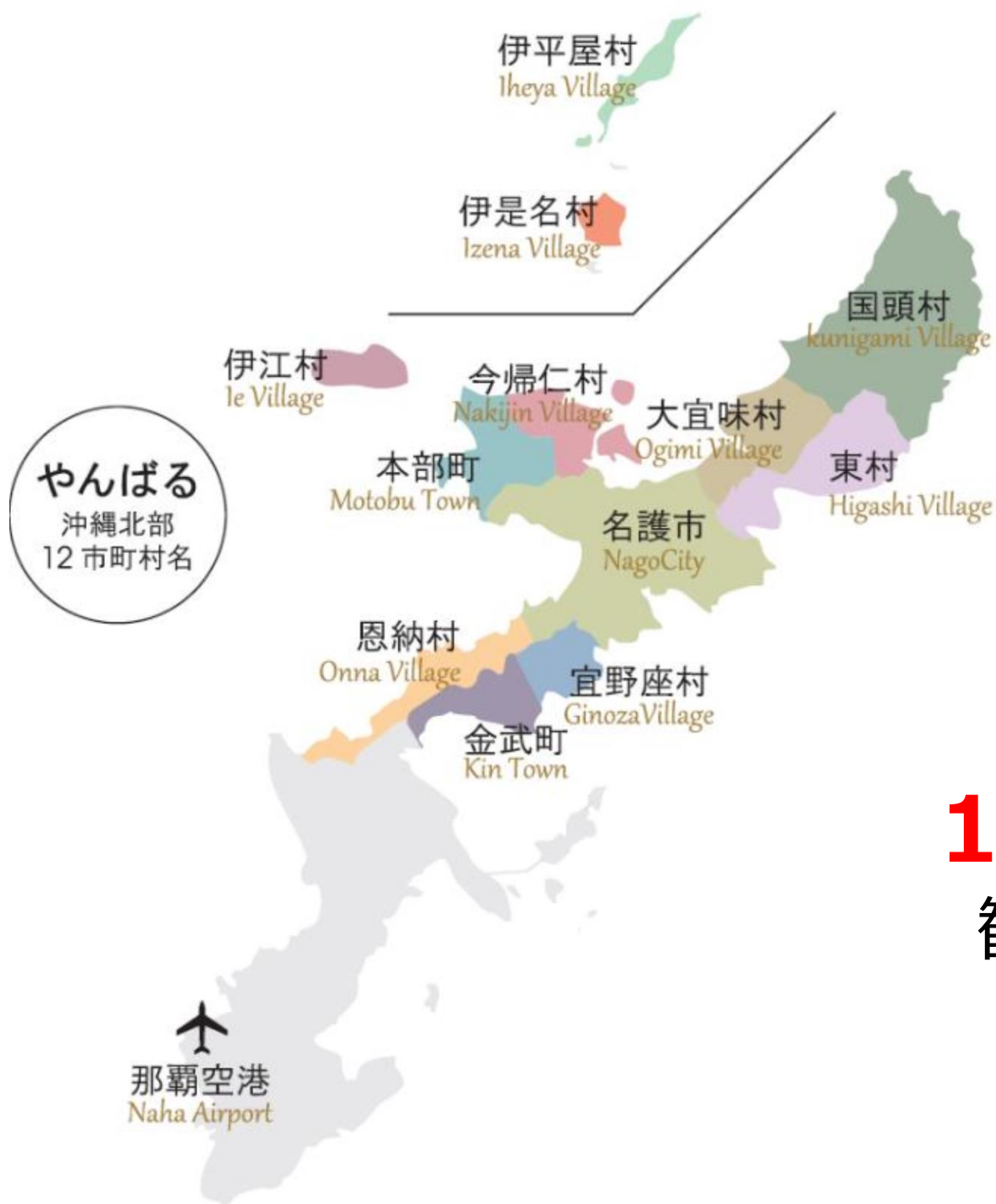
利便性を高めながら、交通混雑など地域の負担軽減にもつながる。

こうした課題は、一つの市町村だけでは解決しにくい。民間でできることは民間に任せる。一方、市町村や一企業だけでは解決できない広域的な課題には、観光地域づくり法人(DMO)が市町村や地域、事業者、民間企業などをつなぎ、必要な場面では自ら事業を動かす実行主体となることも必要だと考える。沖縄やんばるDMOは、北部12市町村を広域でつなぎ、観光を通じた地域づくりに取り組んでいる。

大切なのは、宿泊税を「何に使ったか」だけでなく「使った結果、地域がどう変わったか」で評価することである。宿泊税を単なる財源の消費ではなく、地域の未来への投資として考えたい。滞在日数や観光消費額は伸びたか。人材不足は改善したか。地域への定着につながったか。交通の課題は改善したか。税を使うことが目的ではない。地域に変化を生み、成果を残すことが目的である。

観光によって地域が豊かになったと住民が実感できた時、初めて持続可能な観光になる。そのためにも、行政区域を越えた広域的な課題に取り組むDMOが、明確な成果目標と責任の下、宿泊税を地域課題の解決に活用できる仕組みについて、県や市町村と共に議論を深めていきたい。(名護市、一般社団法人沖縄やんばるDMO代表理事兼CEO、66歳)

2026・9・15 沖縄タイムス



観光客にとって
市町村の境界は関係なく
ニーズは多様

地域によって特徴が違う

やんばるブランドを確立し
1つのワンダーランドとして
観光をマーケティングしながら
エリア全体で受け入れていく

「やんばる」はていーち

やんばるの挑戦は、沖縄全体の挑戦です。

私たちは、「世界に誇るやんばるの「生命の輝き」を未来へ繋ぎ、持続可能な豊かさを地域にもたらす」存在として取組み、やんばるを「住んで善し、訪れて善し」の、世界が羨む持続可能な地域として「来た時よりも美しく」繋いでいく覚悟です。

この取組みは、私たちだけでは成し遂げられません。

沖縄県、そして全ての関係者の皆様と共に、やんばるの、そして沖縄の輝かしい未来を創造していきたいと強く願っています。